

アオハダトンボ

Calopteryx japonica

兵庫県：B

環境省：準絶滅危惧(NT)

種の概要

腹長40～48mm、後翅長31～40mm程度。体色は金緑色で同属のハグロトンボに似るが、♂は翅に青から緑色に輝く金属光沢があり腹端裏面が白いことで、♀は前翅の色がうすく白色の偽縁紋があることで区別できる。平地から丘陵地の、ある程度砂地があり、ヨシや沈水植物が繁茂する清流に生息する。近年、河川勾配が本種の生息域を限定しているという調査結果が報告された。幼虫はツルヨシの根際に潜っている。成虫は5月～7月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

本州、九州

県内分布記録

神戸市、豊岡市、赤穂市、宝塚市、三田市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、たつの市、猪名川町、上郡町、佐用町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○		○	○		○

特記事項

AランクからBランクに変更

県西部で起きた洪水に端を発した全県的な計画的河川改修で、一時期かなり個体数が減少し、絶滅が危ぶまれた。その後植生の復活により個体数が回復した場所もあり、今回はランクを下げた。今後、洪水の増加により植生が流失したり、復旧工事が頻繁になると、再びAランクに戻る可能性はある。

保護上の留意点

浚渫を行うとき、生息地全流域を一斉に行わず、例えば半分ずつを交互に行うなど待避場所を確保する。